



2013年農作業安全確認運動スローガン
「一人ひとりが主役
広げよう!安全確認」

農地の賃借料情報

(田の部) (10a当たり)

地域名	金額				物納			
	平均賃料(円)	最高(円)	最低(円)	データ数(筆)	平均賃料(kg)	最高(kg)	最低(kg)	データ数(筆)
名張地区					60	60	60	1
蔵持地区					57	90	40	13
鷹原地区	10,000	16,000	4,000	2	58	100	10	5
美旗地区	9,900	16,000	3,000	6	57	70	10	87
比奈知地区	16,000	18,000	12,000	3	40	60	30	12
箕曲地区	10,000	12,000	8,000	5	47	60	30	17
錦生地区	11,000	20,000	5,000	20	54	60	30	18
赤目地区	11,500	14,000	10,000	4	48	110	30	33
国津地区	7,000	7,000	7,000	1	60	60	60	1

(畑の部) (10a当たり)

地域名	金額				物納			
	平均賃料(円)	最高(円)	最低(円)	データ数(筆)	平均賃料(kg)	最高(kg)	最低(kg)	データ数(筆)
鷹原地区	11,000	11,000	11,000	1				
美旗地区	18,000	30,000	6,000	2				
箕曲地区	47,000	47,000	47,000	1				
錦生地区	7,000	7,000	7,000	1				
赤目地区	14,100	25,000	8,600	6				

平成25年 農作業賃金の協定基準

種別	単位	協定基準額(円)	備考
一般作業(稲刈含む)	1日	8,000	労働時間は1日8時間(実働)を基準とする
畦畔草刈	1時間	1,200~1,500	ほ場や畦畔の状況により加減 刈払いのみ(機械・燃料含む)
耕起	1回耕	10a 9,000	
	2回耕	10a 6,500	
畔ゆり機によるあぜゆり	1m	95	
代かき	10a	6,500	
田植機作業	10a	10,000	苗代含まない 側条施肥機使用の場合 1,500円増し 農薬1剤につき500円増し
畑耕起	10a	7,000	
農薬散布作業	粉粒剤	10a 2,500	農薬代含まない。動力噴霧機使用の場合
	液剤	10a 3,500	
肥料散布	10a	3,500	肥料代含まない。動力散布機使用の場合
稲刈	バインダー	10a 10,000	ひも持ちとする
	コンバイン	10a 21,000	
ハーベスタ	10a	10,000	
乾燥	はさ掛け	60kg 500	くず米を含む総重量当たりとする
	生脱	60kg 1,500	
籾摺	60kg	700	

(注) 1. 耕起、代かき、田植、稲刈の各作業は、ほ場条件により決定する。
2. 遠距離作業については、作業機等の輸送費を別途加算する。
3. 籾、玄米の輸送費を別途加算する。
4. オペレーター賃金は時間当たり2,000円、補助作業員賃金は一般作業に準ずる。
5. この賃金料金は、すべて并当持参とする。
6. 上記金額には消費税は含まない。
※ 各項目とも目安として決めましたので、実施にあたっては双方話し合いにより決定してください。

魅力いっぱい 農業者年金

◎詳しくは農業委員会へ



- ◎国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人はだれでも加入できます。
- ◎自分が積み立てた保険料とその運用実績により将来受け取る年金額が決まる積立方式(確定拠出型)の年金です。
- ◎自分で保険料の額を決められ、必要に応じて、いつでも見直すことができます。

- ◎終身年金で80歳までの保障付きです。加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金として遺族に支給されます。
- ◎支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。
- ◎農業の担い手となる人には、国から月額最高1万円の保険料補助があります。

農作業中の事故に十分注意を!

毎年、全国で約400件の農作業死亡事故が発生しています。このうち、特にトラクターやコンバインなど農業機械作業中に起こる事故が大半です。
3月から5月までの春作業期間は、事故が多くあります。事故を減らすため、使い慣れた機械でも安全確認を忘れずに作業してください。

- ▼事故を減らすためのポイント
- ▼危険箇所の確認 農道や機械の格納庫など普段から危険な箇所を確認しておく。
- ▼技術講習 不慣れた機械や作業は講習を受ける。
- ▼労災・共済への加入 万一の事故に備えておく。
- ▼応急処置の対応 救急処置の知識を身につけておく。



このコーナーでは、市内で農業に取り組む、若き担い手たちを紹介していきます。

美旗で新鮮野菜を作り続ける!

ほりた まさとし
堀田 勝俊さん(すずらん台)



一 農業を始めたいきっかけは

中学生のとき農業に熱心な先生から農業の道への進学を勧められて、農業に興味を持つようになりました。そして、農業高校、農業大学校に進学。大学校では、果樹(ぶどう)を専攻。大学校卒業後、野菜農家でアルバイトも兼ねた研修をし、独立しました。

一 今は何を作っているのですか?

2年前から小波田で約30アールの農地を借り、さまざまな野菜を栽培。ビニールハウスでは、現在ほうれん草を育てて、市内の量販店や農協の青空市などに出荷しています。他には、レタスやトマトも栽培していますが、出荷先の確保が難しく、品質以上に見た目のきれいさが求められるので大変です。

一 将来の夢を教えてください

1月の大雪の朝、お世話になっていたぶどう園のご主人から「お前のところのハウスは大丈夫か?」と電話をいただき、雪下ろしをしてハウスが潰れるのを防げました。やはり地元とのつながりが大切だと思います。また、30歳代までの青年農業者の親睦を図るために作られた伊賀地区農村青少年クラブにも加入し、同世代の人たちとも情報交換をしています。

周辺の農家の皆さんからも助言をいただきながら、将来的に小波田、美旗中村、新田あたりで30~50アール程度の農地をお借りし、レタスやブロッコリー栽培をしたいと考えています。

※ 農地を貸していただける場合には、農業委員会事務局へご連絡ください。